



鈴木多津枝議員

問

- 後期高齢者医療の資格証明救済策は？
- 町営バスの早期全町運行を！
- 乳幼児医療費補助を中学卒業までの全ての子どもに

**質問** 反対の声が大きい後期高齢者医療制度の当町の状況、町長の認識、救済策は。

**町長** 新制度の被保険者数は2千33人で、保険料が年金天引きの特別徴収者は千568人、自分で納付する普通徴収者は465人で、収入が年18万円以下の方は81人と把握。この場合の固定資産税もない単身者の国保税は1万2千300円だが、新制度では9千700円になる。被用者保険の扶養者は15人だが、20年度は半年凍結で一律年1千600円を6回に分けて納付する。新制度は、増え続ける医療費を別立ての制度で効率化を図り、年金からも一定の負担を求めて、世代間の公平性と後期高齢者にふさわしい医療体系の整備に必要な改革と考える。

**質問** 同じ徴収法の介護保険で普通徴収者の滞納は18年度末で55人になっており、新制度でも同じ事態が考えられる。資格証明になる

**町長** 必要があれば要綱の改善も要求し、適切な運用に努めたい。  
**町長** 町営バスの全町運行見通しと、本川根側の外出支援サービスの問題解決策は？  
**町長** 通院以外も使える外出支援サービスに

したことで、通院などの利用が困難になって

**町長** 多くの自治体が力を入れていて、早期実現に努めたい。  
**町長** 乳幼児医療費助成については財源をどこに確保するのか十分に検討しないと、軽々に制度開始は出来ない。放課後児童クラブについてはアンケートの結果、就労などにより家に帰っても誰もいない児童が1年から3年生に21名あり、出来るだけ早く立ち上げたい。指導員確保、送迎、設置場所の選定などの課題もある。

9月以降に1カ所で行的に実施し、基盤整備していききたい。

**町長** 国が子どもの医療負担を3割から2割に軽減する年齢を3才から小学入学に引き上げたことで町の負担が増える事をご存知か。  
**町長** 勉強不足で承知していない。  
**町長** 質問を通告し、担当課でも調べたのに、知らないのは、勉強不足と言うより、町長の姿勢が報告できない職場にしているのでは。  
**町長** 制度改正に対する情報収集は町長としてしておかなければならない問題。私の勉強不足と思う。

**町長** 所得がある人からは頂くのが基本。医療費制度があるからかかりやすくなくなる。病気にならないよう健康づくりをする事も必要。負担だけを議論すべきではない。

**町長** 制度改正に対する情報収集は町長としてしておかなければならない問題。私の勉強不足と思う。

答

- 必要があれば改善も求め適切な運用に努める
- 21年度に予算化できるよう早期実現に努める
- 補助で医者にかかりやすくなる。健康づくりも大事